

令和 5 年度

学校法人北照高等学校 学校評価書

学校法人 北照高等学校
理事長 小路 修司 様

令和 5 年度学校関係者評価を、教員自己評価・校務分掌、学年の自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果に基づき下記の通り取りまとめましたので報告いたします。

1. 学校関係者評価の実施について

- ①令和 6 年 3 月 29 日 学校法人北照高等学校理事・評議委員会の中で実施
 - ②令和 6 年 4 月 29 日 北照高等学校 PTA 総会の中で実施
- 内容 令和 5 年度 3 学期末までの教員自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果及び自己評価を教頭が説明。

2. 評価項目と評価内容

① 教育活動について

令和 5 年度は、3 年生の希望進路を実現させることができたこと、教科指導においてスポーツコースのクラス編成の変更や普通コースの少人数制の授業において成果が出たこと、学校行事等も円滑に行うことができたことなど充実した教育活動を行うことができたと感じた。また、令和 3 年度に発生した「いじめ」の「重大事態」に関しても、調査委員会の調査が終了し、報告書を道へ提出し、報告書の提言に沿って充実を図っているとの報告を受け、安心・安全な学校づくりにより注力されていると理解した。この問題に関しては、被害者への対応や「いじめのない学校」作りを目標に継続的な取り組みを続けて欲しい。

問題点として、授業における ICT の活用、進路決定後の指導、「いじめ」に関する生徒への啓発活動や教職員研修を挙げているが、どれも必要不可欠な事項であるため、次年度は具体的な取り組みを行い、成果を報告することを要望したい。

② 生徒質問票の分析結果について

満足度の数値が令和 4 年度より大きく回復した。これは、昨年度の反省

を踏まえた教育活動の成果だと感じた。その反面、教員の自己評価が大きく低下しており、過去の傾向から教職員評価の下がった翌年に生徒の評価が低下することがあるため、生徒の学校生活質を高められるような対策を講じて欲しい。

③ 総 評

令和5年度の教育活動を精査した結果、昨年度の反省を生かし、生徒・保護者からの信頼回復に努め、一定の成果を挙げることができた年度と評価したい。これが一過性のもので終わることのないよう、令和6年度は生活指導や教科指導をはじめとして、一層力を入れて学校改革を進め、地域の中で存在感のある学校作りに努めて欲しい。

上記の通り報告いたします。

令和6年5月8日

北照高等学校保護者と教師の会会長

川口 政康

